

令和6年1月26日
国土交通省関東地方整備局
長野国道事務所

工事発注手続きについて

～「R5長野出張所管内横断歩道橋補修工事」の発注手続きを行います～

長野国道事務所が発注する「R5長野出張所管内横断歩道橋補修工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R5長野出張所管内横断歩道橋補修工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

- 1 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- 2 競争参加資格の緩和
- 3 難工事指定
- 4 見積活用方式
- 5 余裕期間制度（発注者指定方式）
- 6 施工箇所が点在する工事の積算

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 長野市政記者クラブ・長野市政記者会・長野県庁会見場

<問い合わせ先>

関東地方整備局 長野国道事務所

電話:026-264-7001（代表） メールアドレス:ktr-nagano-koho@gxb.mlit.go.jp

副所長 西東 俊郎（さいとう としろう）（内線:205）

管理第二課長 榎本 明（えのもと あきら）（内線:441）

《工事概要》

- (1) 工 事 名：R 5 長野出張所管内横断歩道橋補修工事
- (2) 工事場所：長野県長野市大町地先外
- (3) 工 期：令和 6 年 4 月 1 日から令和 6 年 11 月 29 日まで（発注者指定方式）
（余裕期間：契約の翌日から令和 6 年 3 月 31 日まで）
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：橋梁補修工事
- (6) 工事内容（概要）：

1) 大町横断歩道橋

- ・舗装工 47m²
- ・橋梁床版工 1 式
- ・橋梁附属物工 1 式
- ・橋梁補修工 1 式
- ・現場塗装工 466m²
- ・仮設工 1 式

2) 大倉横断歩道橋

- ・通路桁部分取替工 7.5m
- ・舗装工 77m²
- ・橋梁補修工 1 式
- ・現場塗装工 431m²
- ・仮設工 1 式

《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

- 1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

- 2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢・活動実績、本発注工事に対応する工事種別の手持ち工事量及び賃上げの実施を加算点としています。

- 3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 競争参加資格の緩和

- 1) 地域要件の拡大

工事場所等の地理的条件を勘案し、競争参加資格の地域要件を「長野県内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業から「関東地方整備局管内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業に拡大します。

2) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績を「道路における橋梁補修工事」また、「交通規制を行った工事」に限定せず、「道路における橋梁補修工事、橋梁補強工事、橋梁新設工事のいずれかを行った工事であること。」として緩和をします。

3. 難工事指定

本工事は、交通量の多い国道18号での作業となり、交通規制を行いながら横断歩道橋補修工を施工することから、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間で評価対象となります。

4. 見積活用方式

○見積の提出を求める工種

直接工事費のうち「橋梁補修工（FRPシート設置工、ひび割れ補修工（低圧注入工法）、断面補修工（左官工）」、「現場塗装工」

○見積の提出を求める理由

施工にあたっては、交通量の多い片側1車線の現道であり、横断歩道橋に足場を設置して狭隘な作業ヤード内での施工となるため、作業効率が低下することが懸念されます。このため、標準的な積算と実施価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

5. 余裕期間制度（発注者指定方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約の翌日から発注者が指定した工事の始期（令和6年4月1日）までが余裕期間となります。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

6. 施工箇所が点在する工事の積算について

施工箇所が点在する工事の積算について、建設機械を複数箇所に運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、共通仮設費、現場管理費を箇所毎に算出する「施工箇所が点在する工事の積算」を採

用します。

○点在する工事箇所

- 1) 大町横断歩道橋（長野県長野市大町地先）
- 2) 大倉横断歩道橋（長野県長野市豊野町大倉地先）

《スケジュール》

- | | | |
|------------------|-------|----------|
| ○入札公告、入札説明書交付 | ：令和6年 | 1月26日（金） |
| ○技術資料等の提出期限 | ：令和6年 | 2月9日（金） |
| ○入札書・工事費内訳書の提出期限 | ：令和6年 | 3月11日（月） |
| ○開札日 | ：令和6年 | 3月14日（木） |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 総合評価落札方式・企業実績評価型
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価

